

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 20 日作成)

委員会名	地盤改良小委員会	主 査 名：藤井 衛
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	目的：地盤改良設計指針の作成 2002 年度：問題点の抽出と資料収集      2005 年度：査読・訂正・発行 2003 年度：章立ての構成と執筆者の分担 2004 年度：指針原案の作成	
委員構成 (委員名(所属))	藤井 衛(東海大学)      大西 智晴(不動建設)      田村 昌仁(建築研究所) 鈴木 吉夫(竹中工務店)      川村 政史(日本大学)      寺田 邦雄(竹中工務店) 真島 正人(大成建設)      笹尾 光(テクノックス)      日比野 信一(テクノックス) 青木 功(テクノックス)      佐原 守(大林組)      山崎 勉(間組) 安達 俊夫(日本大学)      田中 俊平(鹿島建設)      山本 実(不動建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	設置 WG には固化 WG と締固め WG があり、固化 WG は深層混合処理工法、締固め WG は締固め工法の設計指針の原案を作製することを目的とする。	
2003 年度予算	122,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会は 5/15(7),7/10(11),8/22(12),10/14(9),11/13(10),12/15(10),1/29(12),3/11(12) の計 8 回開催した。また、2003 年 11 月 17 日に「建築基礎のための地盤改良設計指針作成にあたって」のシンポジウムを開催した。参加人数は 115 名であった。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2003 年 11 月 17 日のシンポジウムにて、239 ページにわたる資料(建築基礎の設計施工に関する研究資料 10)を頒布した。内容は 2006 年に刊行しようとしている地盤改良設計指針の骨子となる項目について、両 WG が取りまとめたものである。締固め WG は 1999 年のシンポジウム開催時に得た知見や事例集の作成および最新の知見分析等、委員会活動の中で得た成果を盛り込んだ。一方、固化 WG は深層混合処理工法に関して、これまで我が国で発表された 360 編の論文を収集整理し、「固化工法を用いた改良地盤の構造計画・適用事例 技術の SOA」としてまとめた。建築基礎の締固め工法の設計に関する情報を掲示した刊行物は我が国で初めてであり、また深層混合処理工法の最新の技術情報を体系的にまとめた本資料の学術的・技術的・社会的価値はきわめて高いものと自己評価している。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 「固化工法を用いた改良地盤の構造計画・適用事例 SOA」は、当初文献リストの収集や適用事例は考えていなかったが、委員会の中でより完成度の高いものを目指すことに合意がなされ、非常に充実した資料を作成することができた。目標の達成度は、90%と考えている。
その他評価すべき事項	特になし。